一人ひとりの暮らしを支える取り組み

高齢者等 QOL 向上支援事業
御用聞き（コンシェルジュ）サービス実証事業

玉川村では、様々な事業を通して、高齢者等の生活の質、いわゆる QOL（クオリティー･オブ･ライフ）の向上を目指しています。高齢者等 QOL 向上支援事業の一つとして、高齢者や障がい者、移動に支障のある方々などを対象に「御用聞きサービス」を登録制により実施しています。主に日常のお買物や通院、郵便局や役場への付添いのほか、余暇支援などのサービスを行っており、日常生活を支える身近な支援として利用されています。





学びと交流を通じて、地域の未来を育む

玉川大学との連携

玉川村では、平成29年から玉川大学（東京都町田市）と連携協定を締結し、まちづくりをはじめ、教育・文化、生涯学習、産業振興など、幅広い分野で連携・協力しています。夏休み期間には、玉川大学の学生が村内の小中学生を対象に学習支援を行い、学びを通じた交流を深めています。また、学生が村の自然や特産品、歴史・文化などの地域資源を調査し、その魅力を発信する取組も実施しています。若者ならではの視点を生かし、地域の新たな魅力の発見や、玉川村の知名度・魅力度の向上につなげています。



国際的視野を持った人づくり

友好都市台湾鹿谷郷との国際交流

台湾南投縣鹿谷郷との交流の始まりは、当時、玉川村に福島空港の建設が決定し、これに伴い「国際的視野を持った人づくり」の推進を図るため、昭和63年５月３日に友好都市提携を結んだところから始まっています。以来、相互訪問を重ね、一輪車、ソフトボール、ミニバスケットボールなどによるスポーツ交流や書道交流、農業視察など、教育・文化・産業の各分野において様々な交流を実施しています。



